

6.トラブルと対応

トラブルの内容	原因または症状	対応
電源が入らない (オゾン発生量表示ランプ、タイマーランプが点灯していない)	電気がコンセントまで達していない。	ブレーカー等を確認してください。
	電源プラグが抜けている。	プラグを差し込んでください。
	本体に電源コードが差し込まれていない。	電源コードをしっかり差し込んでください。
	電源コードが断線している。	電源コードの交換を行ってください。 購入のご用命は販売元までご連絡ください。
オゾンが発生しない (作動音・オゾン臭がしない)	電気がコンセントまで達していない。	ブレーカー等を確認してください。
	オゾン発生スイッチが入っていない。	オゾン発生スイッチを確認してください。
	タイマー作動設定時間を終了している。	タイマーのオゾン発生時間の設定を確認してください。
	オゾン発生体が汚れている。	メンテナンスを行ってください。 (メンテナンスについては15ページ参照)
	24時間タイマーのプログラムが設定されていない。	タイマー設定を行う。
	24時間タイマーが運転モード以外の設定になっている。	運転モードにする。
異常表示ランプが点滅している (作動音・オゾン臭がしない)	現在時刻設定の状態になっている。	現在時刻の設定状態を解除してください。
	タイマーの出力が切になっている。	タイマーを自動または入にする。
異常表示ランプが点滅している (作動音・オゾン臭がしない)	正常に動作ができない状態なので強制的に動作を終了しています。	異常表示ランプが点滅し続ける場合は販売元までご連絡ください。
メンテナンスランプが点灯している	メンテナンス周期がきました。	メンテナンスを行ってください。 (メンテナンスについては15ページ参照)

上記以外の症状や上記の処置でも正常に動作しない場合、本体内部から大きな音が出るなどの異常が生じたら、使用を中止し、販売元までご連絡ください。

7.アフターサービス

保証書

保証書は必ず「販売元・購入日」等の記入をご確認の上、大切に保管してください。(保証期間/ご購入日から1カ年)

修理を依頼される時

メーカーまたは販売店までご連絡ください。本製品の補修用部品は製造打ち切り後8年を目安として保有しております。その期間は原則として修理をお引き受け致します。

緊急連絡先

販売元またはご自身で緊急連絡先をご記入ください。

会社名 _____
 部署名 _____
 担当者名 _____
 電話番号 _____
 FAX番号 _____

■販売元:お問い合わせ先

8.仕様

商 品 名	剛腕 1000TR2
開 発 品 番	GWD-1000TR2
タイマー仕様	24時間タイマー
オゾン発生量	250/500/750/1000mg/h(4段階切替)
吹き出し口濃度	1.4/2.8/4.3/5.7ppm
電 源 電 圧	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	52W
本 体 外 形 寸 法	341(W)×213(D)×210(H)mm
本 体 重 量	約5.0kg
オゾン発生時風量	1.37m ³ /min
使用温湿度範囲	0~40℃(結露のないこと)

※本製品は薬機法における医療用具ではありません。
 ※上記仕様及び外観は予告なく変更することがあります。

■開発・製造元

オーニット株式会社

〒709-0802 岡山県赤磐市桜が丘西10丁目31-2
 TEL086-956-2520 FAX086-956-2521
<http://www.ohnit.co.jp>

図番/Z02-GWD1006T-601-4

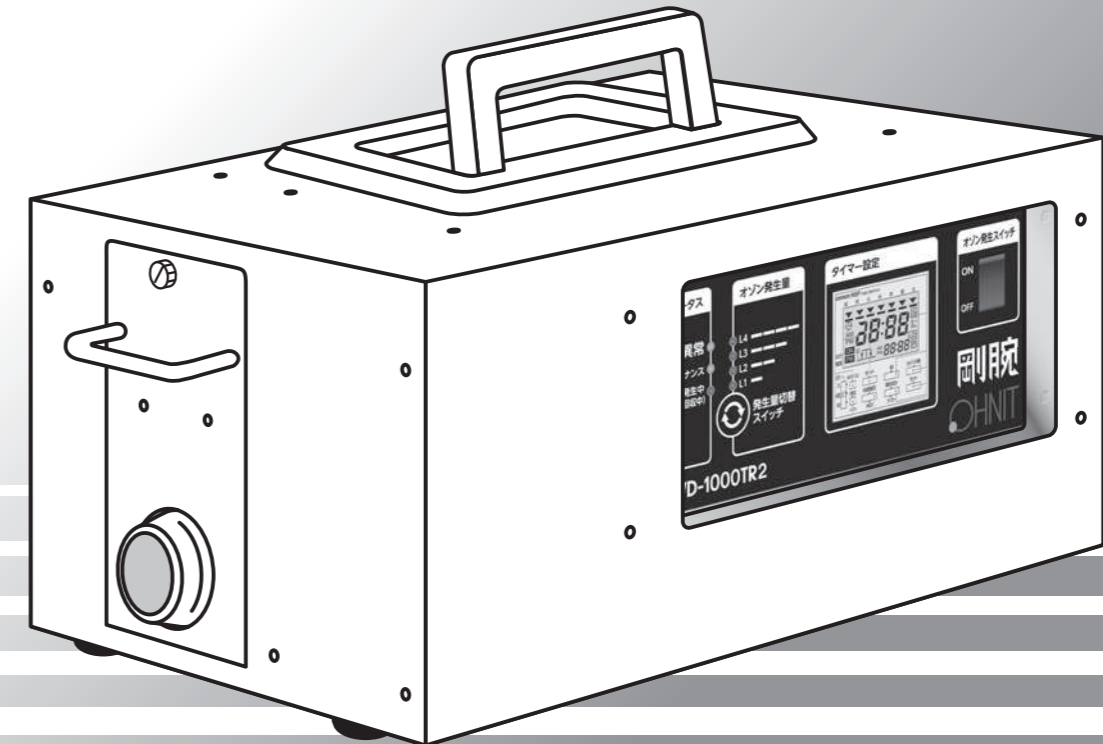


オゾン発生装置

剛腕 1000TR2

24時間タイマータイプ

OHNIT



ご使用前に
必ずお読みください。

取扱説明書

このたびはオゾン発生装置『剛腕 1000TR2』をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
 万一、取り扱いを間違えますと事故や故障の原因となります。ご使用前に、この取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この取扱説明書が必要になった時、すぐに利用できるように保管してください。

目次

はじめに	…………… P1	3 タイマーの設定方法(24時間タイマー)	…………… P6~13	4 使用方法例	…………… P14
1 使用上の注意	…………… P2~3	3-1. 動作機能	…………… P6~13	5 使用上の保守・点検	…………… P15
2 操作方法	…………… P4~5	3-2. ご使用前に(モード切り替えについて)	…………… P6~13	6 トラブルと対応	…………… P16
2-1. 本体名称及び付属品	…………… P4~5	3-3. 現在時刻の設定	…………… P6~13	7 アフターサービス	…………… P16
2-2. 操作部各部の名称	…………… P4~5	3-4. 単体タイマー設定	…………… P6~13	8 仕様	…………… P16
2-3. オゾン回収機能について	…………… P4~5	3-5. タイマー動作を設定する	…………… P6~13		
		3-6. 特定曜日を設定する	…………… P6~13		
		3-7. パルス動作を設定する	…………… P6~13		
		3-8. 設定内容を修正(確認)する	…………… P6~13		
		3-9. 設定内容を消去する	…………… P6~13		
		3-10. 休日(一時的な休み)を設定する	…………… P6~13		
		3-11. サマータイム	…………… P6~13		
		3-12. AM/PM12h⇄24h表示切替	…………… P6~13		
		3-13. 半自動動作	…………… P6~13		
		3-14. テストモード	…………… P6~13		
		3-15. 電源OFF中の動作	…………… P6~13		
		3-16. 設定上のご留意	…………… P6~13		
		3-17. プログラム例	…………… P6~13		

1. 使用上の注意

剛腕1000TR2を正しくお使いいただくために、次のことを守ってください。

安全にご使用いただくための警告と注意

■ 安全上の注意表示

本装置の使い方を誤ると火災や感電などの事故を起こす恐れがあります。お客様の身体や財産に損害を与えないため、重要な事項を下記の表示で表しています。保守管理ご担当の方は、この取扱説明書を手近な所に置き、製品が正しく使われるよう遵守し、保守管理してください。

- 危険** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うような切迫した危険があることを示しています。
- 警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。
- 注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷の発生が想定されることを示しています。

重傷／失明・感電・けがやけど・骨折・中毒などで、後遺症があるもの。また、治療に入院や長期通院を要するものを指します。
 傷害／治療に入院や長期通院を要さない感電・けがやけどなどを指します。
 物的損傷／家屋・家財・設備機器・及び家畜・ペットなどに関わる拡大損傷を指します。

- 危険**
 - 装置の蓋を取る、または分解・改造はしないでください。本体の内部は高圧電源を使用しているため、感電して死亡する恐れがあります。
 - 本体を落とす、または強い衝撃を与えた場合は使用を中止し、販売元までご連絡ください。本体内部のオゾン発生体が破損した状態で使用すると、火災や感電して死亡する恐れがあります。
- 警告**
 - お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因になります。また、電源コードを抜く時は、コードを持たずにプラグを持って抜いてください。
 - 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。
 - コンセントや配線器具の定格を外れる使い方や、AC100V50/60Hz以外での使用はしないでください。火災や感電の恐れがあります。
 - 電源コード接続アダプター・電源プラグは、差し込み口に根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。※傷んだプラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。
 - 「仕様」に記載されている内容以外で使用しないでください。故障の原因になります。
 - 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを乗せる、束ねる、はさみ込むなど電源コードを傷つけると、漏電や感電の恐れがあります。※電源コードを破損した場合の修理は販売元にご相談ください。
 - 換気のできない場所では運転しないでください。密閉された空間は、オゾン濃度が高くなり過ぎ気分が悪くなる恐れがあります。
 - 本体に水をかけないでください。本装置は防水、防滴の仕様になっていません。故障や漏電、感電の原因になります。
 - オゾン発生中に吹出口から、息を直接吸い込まないでください。吹出口から出る高濃度オゾンを経長時間吸うと人体に傷害を与える恐れがあります。
 - 電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。ほこりなどがたまるとう湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
 - 電源コードは必ず付属のものをご使用ください。また付属の電源コードを他の製品で使用しないでください。故障の原因になります。
 - 消臭剤・殺虫剤・洗剤と併用しない。また、消臭剤・殺虫剤・洗剤の使用直後に本製品を使用しない。消臭剤・殺虫剤・洗剤の使用後は十分換気してから運転してください。故障や思わぬ事故の原因になります。
 - ジェネレーターユニットのハンドルを持って本体を移動させないでください。故障の原因になります。
 - 吸込口や吹出口をふさがないでください。故障の原因になります。
 - アースを確実に取り付ける。故障や漏電のときに、感電の恐れがあります。

⚠ 注意

オゾンに関する注意事項

剛腕1000TR2は、高濃度のオゾンによって高い除菌、消臭効果を得る製品です。そのため、人やペットなどの動物がいる空間では使用せず、人やペットなどの動物がいない状態でのみご使用ください。また、ご使用後はオゾン臭が消えてから入室・乗車してください。急いで車や部屋をご利用になる場合は、十分な換気を行ってください。(換気のために入室・乗車しても短時間であれば影響はありません)

気中オゾンの生物への影響

濃度 [ppm]	生物への影響	備考
0.01~0.03	ほとんど臭わない	自然界の日中の濃度
0.04~0.06	さわやかな臭い、オゾンの臭いがある	海岸・山(晴天の夏PM2:00)
0.06	これ未満は慢性肺疾病患者の嗅気能に影響なし	オキシダント環境基準
0.10	人体への影響(のどが痛い・鼻が痛い・目が痛い)	日本産業衛生学会 許容勧告濃度USA環境基準
0.60~0.80	頭痛・せき・呼吸困難	
0.50~1.00	呼吸障害・モルモットの寿命短縮	
1~2	2時間暴露で、頭痛・胸部痛など	
5~10	呼吸障害、脈拍増加など	

- 天然ゴム類は高濃度オゾンに触れると劣化しやすいので、直接触れないようご注意ください。シリコン(Si)・アクリル(ACM,ANM)・エチレンプロピレン(EPD,EPDM)・ブチル(HR)の各ゴムは、ある程度オゾン耐性が認められています。フッ素(FPM)は高濃度のオゾンに耐性があります。
- 錆びやすい品物は高濃度オゾンに直接触れると、錆が促進されますのでご注意ください。塗装皮膜・油脂皮膜のない鉄製品などは、オゾンの酸化作用で錆の進行が促進されます。アルミ製品・ステンレス製品は一般的にオゾン耐性があります。SUS304・SUS316は高濃度オゾンに耐性があります。
- オゾンの酸化作用・漂白作用で装飾性を損なう恐れがありますので、貴金属製品など貴重品はオゾンに直接触れないようご注意ください。
- 皮革製品は基本的に影響ありませんが、一部質感が変化する場合がありますのでご注意ください。

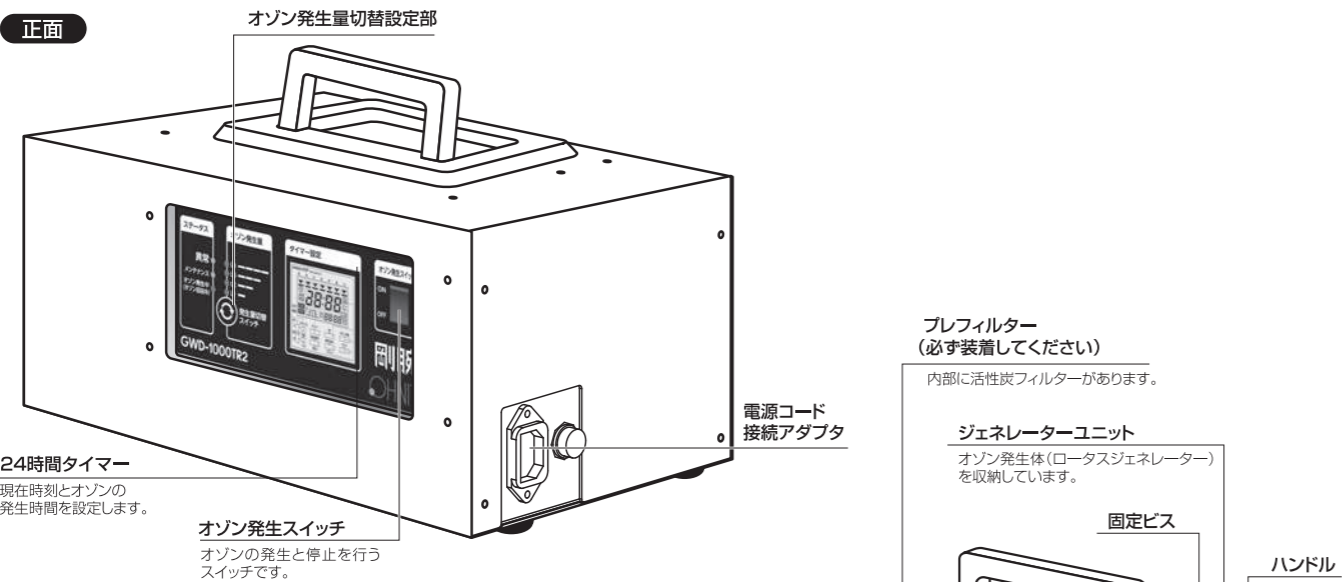
アースについて

- 接地極付コンセントがある場合
電源コードのみで接続してください。
- アース端子付きコンセントがない場合
アース工事を行ってください。
※アース工事…電気工事士の有資格者によるD種接地工事。
(製品価格に工事費は含まれていません)
- アース端子付きコンセントがある場合
付属の3p→2p変換アダプタを壁面コンセントのアース線用端子に確実に固定します。



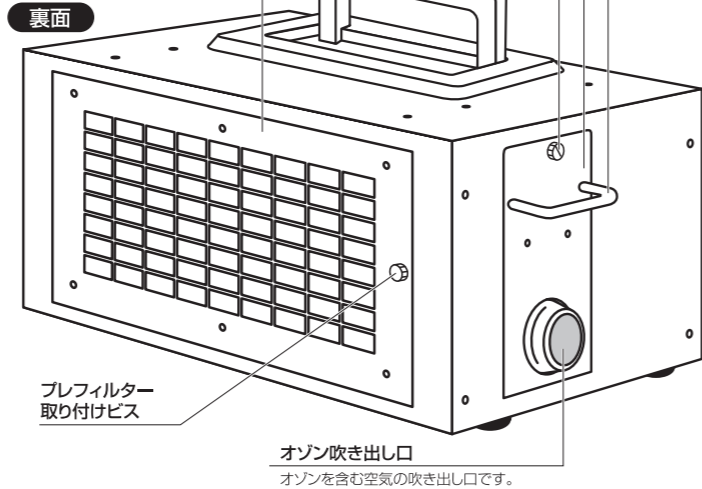
2. 操作方法

2-1. 本体名称及び付属品



付属品

- 本体 1体
- 保証書 1枚
- 取扱説明書 1冊
- 除菌消臭処理済シール 1枚
- 注意ボード(大) 1枚
- 電源コード 1本
- 2芯コンセント用ネマプラグ 2個
- 吸着盤 2個
- その他 1個



2-2. 操作部各部の名称

異常表示ランプ
剛腕1000TR2に異常が生じている場合に点滅します。(点滅中は動作を停止します。)

メンテナンスランプ
保守・点検の推奨時期を過ぎると自動的に点灯します。

オゾン発生・回収ランプ
オゾンが発生している間は点灯し、オゾン回収中は点滅します。

オゾン発生量表示ランプ
発生量レベルを表示するランプです。

切替モード	オゾン発生量
強 ↑	L4 1000mg/h
	L3 750mg/h
	L2 500mg/h
弱 ↓	L1 250mg/h

オゾン発生量切替スイッチ
空間の広さや環境に応じてオゾンの発生量を切り替えるボタンです。
オゾン発生量切替スイッチのサイクル 1回押すたびに切り替わります。

24時間タイマー各部の名称

<操作部>

モード キー
時刻合わせ、動作設定、運転の各モードの切り替え

タイマ/パルス キー
タイマー動作、パルス動作の切り替え

出力「入」「切」 スイッチ
入: 設定内容に関係なく出力ON
自動: 設定内容に従って自動運転
切: 設定内容に関係なく出力をOFF
※本スイッチと「セット」キーの操作で半自動動作を行なうことが可能。

消去/+1h キー
設定内容の消去
サマータイムの設定/解除

特定曜日/休日 キー
特定曜日の設定/解除
休日設定モードへの移行/復帰

時 キー
時の設定
AM/PM 12h ↔ 24hの表示切替

分/パルス幅 キー
分の設定
パルス時間幅の設定

セット キー
各種設定内容のセット
テストモードでの設定確認

曜日送り/テスト キー
曜日の選択
テストモードへの移行/復帰

<表示部>

【時刻合わせモード表示】

【現在時刻/動作設定時刻パルス幅表示】

【出力表示】
制御出力がONのとき点灯

【電源表示】
タイムスイッチに電源が供給されているとき点灯

【パルス動作表示】
点灯: パルス動作
消灯: タイマー動作

【次動作表示】
運転モード: 次に制御出力が動作する方向(ON/OFF)と時刻を表示
動作時刻設定モード: 設定のプログラムNo.を表示
休日設定: 休日設定モード中のとき「Hd Ry」を表示
テストモード: テストモード中のとき「tE St」を表示

【現在曜日表示】

【動作設定曜日表示】
点灯: 動作曜日
消灯: 非動作曜日
点滅: 特定曜日

【特定曜日動作表示】

【パルス幅単位表示】

【サマータイム表示】
サマータイム設定時点灯

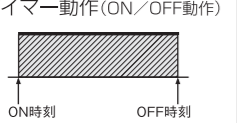
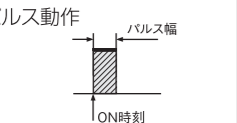
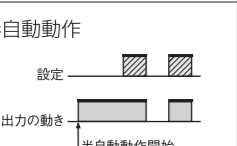
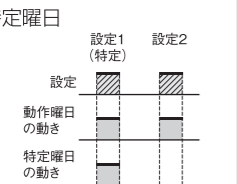
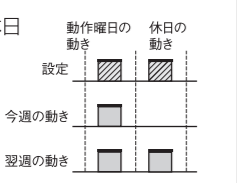
【動作設定モード表示】

2-3. オゾン回収機能について

- オゾン発生終了後、自動的に1時間オゾンの回収を行います。
- ⚠️ **注意** オゾン回収時間の設定を行うことはできません。
 - ⚠️ **注意** 運転中に電源を切り再度電源を入れた場合は、オゾン発生から開始します。(オゾン回収からスタートすることはできません。)
 - ⚠️ **注意** オゾン回収を停止させたい場合は、オゾン発生量切替スイッチを長押しするか、電源コードを抜いてください。

3. タイマーの設定方法(24時間タイマー)

3-1. 動作・機能

動作・機能	説明	参照 ページ
 タイマー動作(ON/OFF動作)	設定されたON/OFF時刻に従って出力を制御します。 ・最小設定単位1min ・ON/OFF1セットで2ステップ ・最大24ステップまで設定可能	P.7
 パルス動作	設定したON時刻に一定時刻のパルス出力を行います。 ・パルス幅:1~59s,1~60min ・1セットで1ステップ ・最大24ステップまで設定可能	P.9
強制ON/OFF動作	出力「入」「切」スイッチを使用して制御出力を設定内容にかかわらず、常にON(あるいはOFF)の状態に保持します。	
 半自動動作	出力「入」「切」スイッチと「セット」キーを使用して制御出力を次のOFF時刻まで、ONの状態に保持します。 ・ON時刻までOFFの状態を保持することも可能。 ・その後は自動的に設定内容に従った動作を行う。 ・パルス動作時も可能です。	P.11
 特定曜日	設定されている動作の一部だけを実行する曜日を選択できます。 例:日曜日を特定曜日に設定 月~土 8:00~12:00(No.1) 13:00~17:00(No.2) 日 8:00~12:00(No.1) ・特定曜日しか動作しない設定はできません。 ・パルス動作時も可能です。	P.8
 休日	動作曜日を一時的に休日(非動作曜日:設定に関わらず出力OFF)にします。 その日が過ぎると自動的に動作曜日となり翌週は設定に従った動作を行います。 ・パルス動作時も可能です。	P.11

3-3. 現在時刻の設定

【例】現在時刻を水曜日の午前10:30→月曜日の午前4:00へ合わせる。

①モードを1秒以上押して時刻合わせモードにします。⊕が点滅します。

②曜日送りを押して▼表示を月曜日に合わせます。時/分/パルス幅を押して"AM 4:00"に合わせます。

③セットを押します。コロンが点滅を開始し、0秒より時計を始めます。

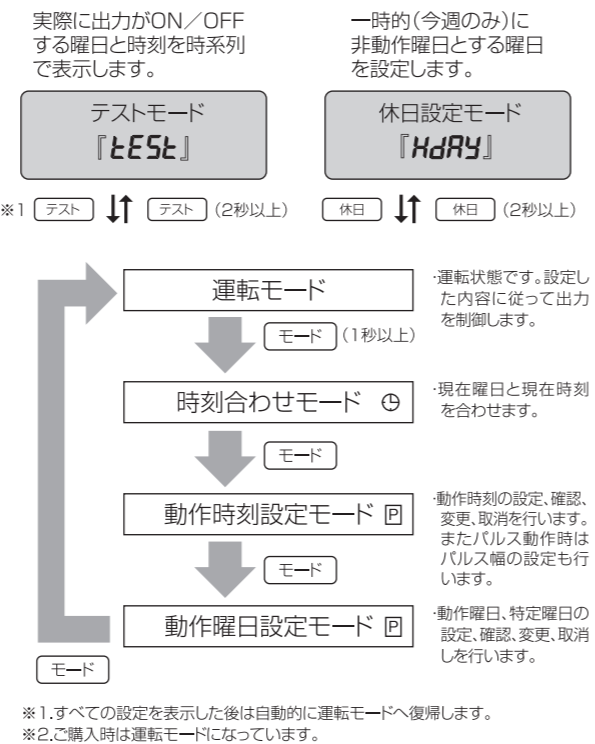
④モードを3回押して、運転モードに戻します。

《工場出荷時の設定》
現在時刻は工場出荷時に設定されています。時間が異なる場合は現在時刻の設定方法に従って現在時刻の設定を行ってください。

《ワンポイント》
変更した時刻はセットを押した時点で有効となります。
時刻の表示はAM/PM12時間表示と24時間表示が選択できます。

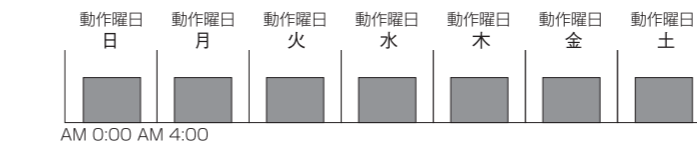
3-2. ご使用前に(モード切り替えについて)

各種のモードはモード、休日、テストを押して選択します。モードの遷移についての詳細は、下図を参照してください。



3-4. 簡単タイマー設定

【例】毎日 0:00にON 午前4:00にOFF→これをプログラムNo.1に設定する場合。



①モードを押して動作時刻設定モードにします。液晶画面右下に [P] が表示され点滅します。

②時/分/パルス幅を押してON時刻を"AM0:00"に合わせます。

③セットを押します。(注意!時あるいは分の片方のみ合わせた状態でセットを押すと動作設定時刻表示が点滅しエラーとなります。)

④時/分/パルス幅を押してOFF時刻を"AM4:00"に合わせます。

⑤セットを押します。

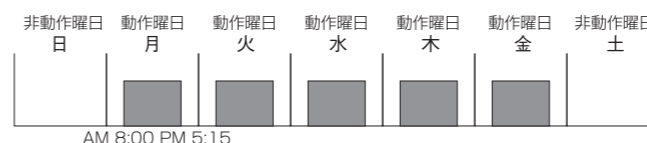
⑥モードを押して動作曜日設定モードにします。

⑦動作設定曜日表示の■が全て点灯している事を確認してください。点灯していない曜日がある場合は、曜日送りを押して▼を点灯していない曜日に合わせ、セットを押して動作設定曜日表示の■を点灯させます。

⑧モードを押します。運転モードになり、設定に従った動作を開始します。

3-5. タイマー動作を設定する

【例】月曜日から金曜日 午前8:30にON 午後5:15にOFF これをプログラムNo.1に設定する。



①モードを押して動作時刻設定モードにします。液晶画面右下に [P] が表示され点滅します。

②時/分/パルス幅を押してON時刻を"AM 8:30"に合わせます。

③セットを押します。(時あるいは分の片方のみ合わせた状態でセットを押すと動作設定時刻表示が点滅しエラーとなります。)

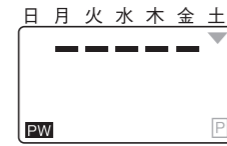
④時/分/パルス幅を押してOFF時刻を"PM 5:15"に合わせます。

⑤セットを押します。(続いて他の設定を行う場合は②~⑤の操作を繰り返します。)

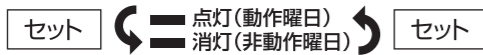
⑥モードを押して、動作曜日設定モードにします。

3. タイマーの設定方法(24時間タイマー)

⑦曜日送りを押しして▼を土曜日に合わせます。セットを押しして動作設定曜日表示の「—」を消灯させます。日曜日も同様に繰り返してください。



⑧モードを押します。運転モードになり、設定に従った動作を開始します。



《ワンポイント》

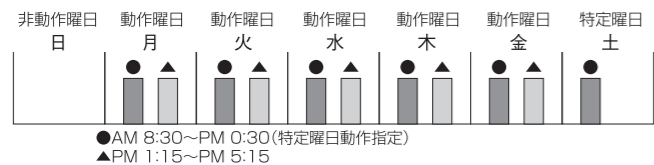
- ・設定はON-OFFセットで最大12セットまで可能です。
- ・設定は必ずON-OFFセットで行ってください。ON時刻のみの設定は無効となります。
- ・工場出荷時は全ての曜日が動作曜日に設定されています。

- ・2セット以上の設定を組み合わせることで24時間以上の連続動作も可能です。
- ・パルス動作とタイマー動作が混在する設定はできません。

3-6. 特定曜日を設定する

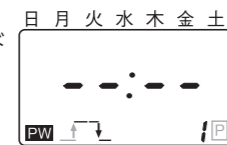
ある曜日のみ設定の一部だけ動作をさせる。

【例】月曜日から金曜日 午前8:30にON 午後0:30にOFF
午後1:15にON 午後5:15にOFF
土曜日 午前8:30にON 午後0:30にOFF



色は点滅表示をあらわします。

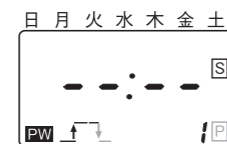
①モードを押して動作時刻設定モードにします。



②特定曜日を押しして「S」を点灯させます。時、分/パルス幅を押しして特定曜日のON時刻を「AM 8:30」に合わせます。



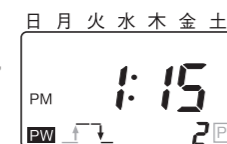
③セットを押します。



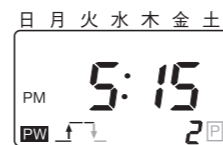
④時、分/パルス幅を押しして特定曜日のOFF時刻を「PM 0:30」に合わせます。



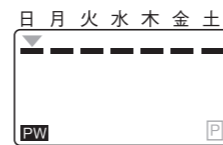
⑤セットを押します。時、分/パルス幅を押しして「PM 1:15」に合わせます。



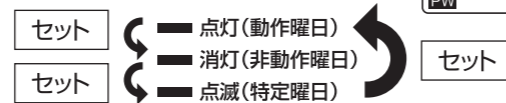
⑥セットを押します。時、分/パルス幅を押しして「PM 5:15」に合わせます。



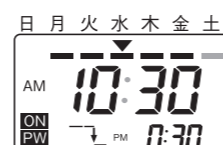
⑦セットを押します。モードを押して、動作曜日設定モードにします。



⑧曜日送りを押しして▼を土曜日に合わせます。セットを押しして「—」を点滅させます。同様に日曜日を消灯させます。



⑨モードを押します。運転モードになり、設定に従った動作を開始します。特定曜日に設定されている曜日は「—」が点滅します。



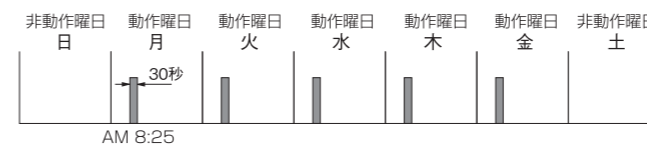
《ワンポイント》

- ・2つ以上のプログラムに対して特定曜日動作を設定することが可能です。ただし、プログラムごとに特定曜日を押しして、Sを点灯させる必要があります。
- ・2つ以上の曜日に対して特定曜日を指定することが可能です。
- ・パルス動作時も特定曜日動作の設定が可能です。

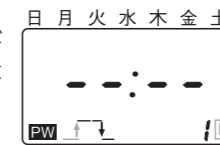
3-7. パルス動作を設定する

設定時刻に一定時間のパルス出力を行う。
【例】月曜日から金曜日 午後8:25から30秒ON
これをプログラムNo.1に設定する。

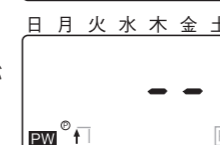
色は点滅表示をあらわします。



①モードを押して動作時刻設定モードにします。液晶画面右下に「P」が表示され点滅します。



②タイマ/パルスを押して「パルス動作」にします。液晶画面左下に「P」表示が点灯します。(工場出荷時はタイマー動作に設定されています。)

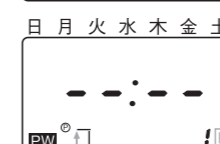


③分/パルス幅を押ししてパルス幅を「30s」に合わせます。

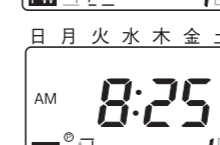


(パルス幅は1~59s、1~60minまで設定可能です。また全てのプログラムに共通です。)

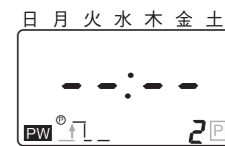
④セットを押します。



⑤時、分/パルス幅を押ししてON時刻(パルス動作開始時刻)を「AM 8:25」に合わせます。



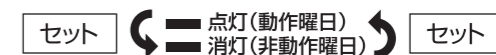
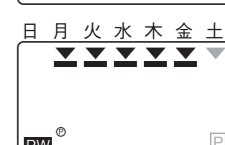
⑥セットを押します。(続いて他の設定を行う場合は⑤~⑥の操作を繰り返します。)



⑦モードを押して、動作曜日設定モードにします。



⑧曜日送りを押しして▼を土曜日に合わせます。セットを押しして「—」を消灯させます。日曜日も同様に繰り返してください。



⑨モードを押します。運転モードになり、設定に従った動作を開始します。



《ワンポイント》

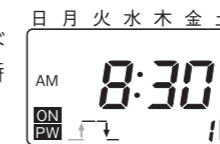
- ・設定は最大24セットまで可能です。
- ・タイマー動作⇄パルス動作の変更を行うと「動作時刻」「動作曜日」「パルス幅」の設定がすべて消去されます。
- ・パルス動作とタイマー動作が混在する設定はできません。

3-8. 設定内容を修正(確認)する

タイマー動作の設定内容を修正(確認)する。
【例1】プログラムNo.1のON時刻を修正 AM8:30 → AM7:45

色は点滅表示をあらわします。

①モードを押して動作時刻設定モードにします。プログラムNo.1のON時刻が表示されます。



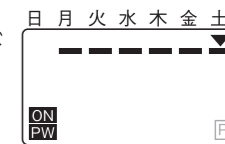
②時、分/パルス幅でON時刻をAM7:45へ変更します。



③セットを押します。



④モードを押して動作曜日設定モードにします。動作曜日の設定内容が表示されます。(修正がある場合は曜日送りとセットで修正します。)



⑤モードを押します。運転モードになり、動作を開始します。



《ワンポイント》

- ・運転モードへ復帰した時点から修正内容に従った動作を開始します。

3. タイマーの設定方法(24時間タイマー)

タイマー動作の設定内容を修正(確認)する。
【例2】パルス幅 30s → 20s

色は点滅表示をあらわします。

①モードを押して動作時刻設定モードにします。パルス幅が表示されます。



④モードを押して動作曜日設定モードにします。動作曜日の設定内容が表示されます。



(修正がある場合は、曜日送りとセットで修正します。)

②分パルス幅を押してパルス幅を20sへ変更します。



⑤モードを押します。運転モードになり、動作を開始します。



③セットを押します。

(セットを押すと修正が有効になります。)プログラムNo.1のON時刻が表示されます。(修正がある場合は時、分パルス幅、セットで修正します。)



《ワンポイント》
・運転モードへ復帰した時点から修正内容に従った動作を開始します。

3-9. 設定内容を消去する

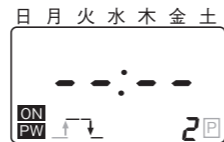
プログラムごとに設定を消去する。
【例1】プログラムNo.2の設定を消去する。

色は点滅表示をあらわします。

①モードを押して動作時刻設定モードにします。プログラムNo.1に設定されているON時刻が表示されます。



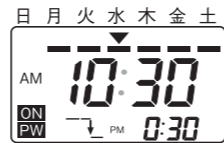
③消去を押します。(一回の操作でON/OFFの設定が同時に消去されます。出力は消去前の状態を保持します。)



②セットを2回押します。プログラムNo.2に設定されているON時刻が表示されます。



④モードを2回押します。運転モードとなり、取り消した内容で動作を開始します。



《ワンポイント》
・パルス動作の設定も同様にプログラムごとに消去が可能です。

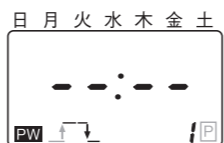
すべての設定内容を消去する。

色は点滅表示をあらわします。

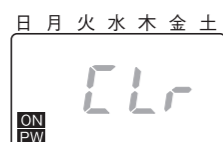
①モードを押して動作時刻設定モード、または動作曜日設定モードにします。



③全消去処理が完了すると、「動作時刻」、「動作曜日」、「パルス幅」、「休日」、「特定曜日」、「半自動動作」のすべての設定が初期化されます。



②消去を3秒以上押します。3秒経過後に、消去処理が完了します。(出力はOFFします。)



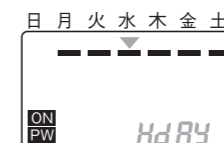
《ワンポイント》
・「CLR」が点滅中に消去キーを離すと全消去はキャンセルされ、表示されていたプログラム1つのみが消去されます。

3-10. 休日(一時的な休み)を設定する

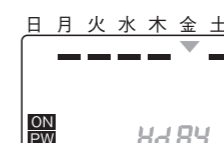
動作曜日を一時的に休日(非動作曜日)とする。
【例】金曜日と土曜日 今週:休日(非動作曜日)
翌週以降:動作曜日

色は点滅表示をあらわします。

①運転モード中に休日を2秒以上押し、休日設定モードにします。「HdRY」が点滅し、動作曜日に設定されている曜日には「-」が点灯します。

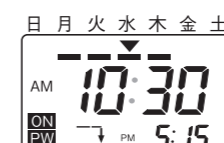


②曜日送りを押して▼を金曜日に合わせます。セット押し「-」を消灯させます。土曜日も同様に繰り返してください。



(休日を解除するには再度、セットを押し「-」を点灯させます。)

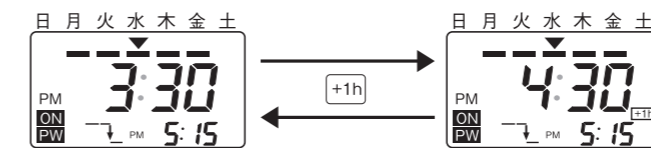
③休日を押しします。運転モードになり、休日に設定された曜日の「-」が消灯します。



《ワンポイント》
・休日の設定が可能な範囲は本日を含む向こう7日間です。
・運転モードに復帰した時点で設定した内容に従った動作を開始します。
・休日とした曜日が終了すると、自動的に「-」が点灯します。
・休日設定モードへの移行は運転モードからのみ可能です。
・時刻合わせモードで現在曜日変更を行うと休日の設定が全て取り消されます。
・動作曜日設定モードで休日に設定されている曜日の設定を変更するとその曜日の休日設定は取り消されます。

3-11. サマータイム

+1hを押すたびに現在時刻が「現在時刻 → 現在時刻+1h(サマータイム)」に切り替わります。



《ワンポイント》
・サマータイムに設定中は+1hが点灯します。
・サマータイムの設定/解除は運転モード中のみ可能です。
・プログラム設定内容は変更されません。

3-12. AM/PM12h ↔ 24h表示切替

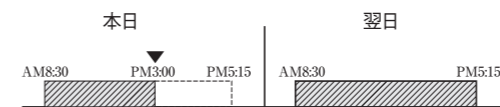
時を2秒以上押すたびに時刻表示が「AM/PM12h ↔ 24h」に切り替わります。



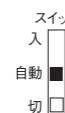
《ワンポイント》
・運転モード中のみ切替が可能です。
・工場出荷時はAM/PM12h表示です。

3-13. 半自動動作

【例】設定:午前8:30 ON 午後5:15 OFF
本日だけ午後3:00にOFFさせる。



①一旦、出力「入」「切」スイッチを「自動」から「切」に変更します。
②出力「入」「切」スイッチをセットを押しながら「切」から「自動」に戻す。この操作を行った時点「▼」から、次の設定ON時刻までOFFを保持します。



《ワンポイント》
・運転モードのみ設定可能です。
・半自動状態を解除するには出力「入」「切」スイッチを出力状態とは反対側へ操作します。例:出力OFFで半自動状態の場合は「入」
・タイムスイッチの電源がOFF中は設定、解除ともに出来ません。
・各種設定を変更すると半自動状態は解除されます。
・オゾン発生スイッチを「ON」のままタイマーの出力「入」「切」スイッチを使って、オゾン発生時間中にオゾンの発生を停止できます。

3. タイマーの設定方法(24時間タイマー)

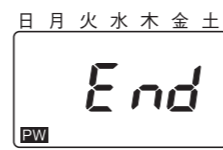
3-14. テストモード

出力が実際にON,OFFする曜日と時刻を動作時刻順に1週間分、連続して表示することができます。

①運転モード中にテストを2秒以上押し、テストモードにします。
『TEST』が点滅し、現在時刻以降で最初に出力が動作する曜日と時刻が表示されます。



③最後の内容が表示されたときにセットを押すと、『End』表示が2秒間点灯後、自動的に運転モードに復帰します。



②セットを押します。
次に出力が動作する曜日と時刻へ表示が更新されます。
(セットを押すたびにこれが1週間分連続されます。)



《ワンポイント》

- ・運転モードからのみ移行可能です。
- ・テストモードの途中で運転モードへ復帰したい場合は再度テストを押します。
- ・表示されている「」や「」に応じて出力の動作は行いません。
- ・ただし、設定と現在時刻に従った出力の動作はテストモード中にも継続されます。
- ・パルス動作時はON時刻のみの表示となります。

3-15. 電源OFF中の動作

①出力はOFFとなります。出力表示と電源表示は消灯します。

②半自動動作以外の設定、操作が可能です。

③現在時刻や次動作表示の更新を行います。



④設定内容はリチウム電池によりバックアップしています。なお、リチウム電池の寿命は以下の通りです。

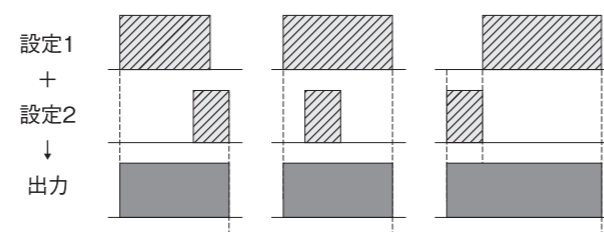
- ・連続5年以上(at 25℃) 10年以上(停電率50%)
(お客様で電池の交換を行うことは出来ません。)

3-16. 設定上のご留意

①動作の設定が重なった場合、ON時刻は早いものが優先となり、OFF時刻は遅いものが優先となります。

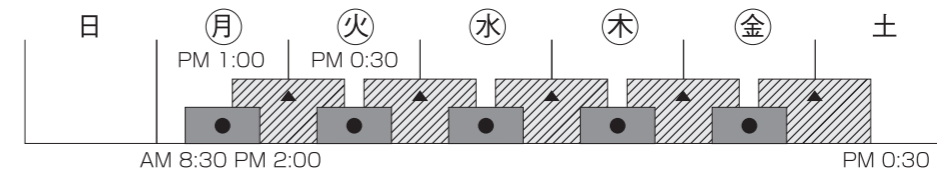
・出力は途中で切れることなく連続で出力します。
・同一時刻にONとOFFの設定を行った場合、出力は変化しません。

②タイマ/パルス動作の切替えを行うと、設定済みの「動作時刻」、「動作曜日」、「パルス幅」の内容が全て消去されます。



3-17. プログラム例

【例1】24時間以上にわたっての連続動作①
月曜日の午前8:30にON → 土曜日の午後0:30にOFF



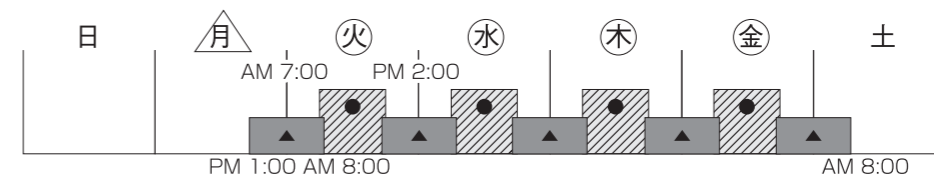
動作時刻設定

- ▲PM 1:00 ~ PM 0:30
- AM 8:30 ~ PM 2:00

動作曜日設定

動作曜日(○):月、火、水、木、金

【例2】24時間以上にわたっての連続動作②
月曜日の午後1:00にON → 土曜日の午前8:00にOFF



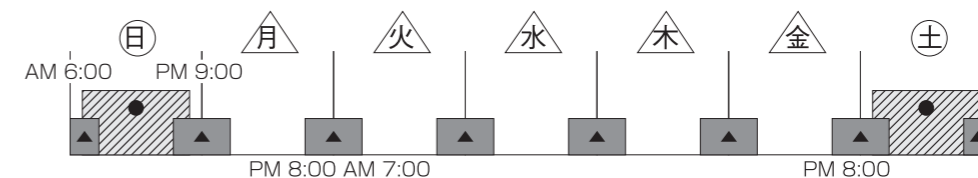
動作時刻設定

- ▲PM 1:00 ~ AM 8:00 (特定)
- AM 7:00 ~ PM 2:00

動作曜日設定

特定動作曜日(△):月
動作曜日(○):火、水、木、金

【例3】24時間以上にわたっての連続動作③
・月曜日から木曜日 午後8:00にON 午前7:00にOFF
・金曜の午後8:00にON → 月曜の午前7:00にOFF



動作時刻設定

- ▲PM 8:00 ~ AM 7:00 (特定)
- AM 6:00 ~ PM 9:00

動作曜日設定

特定動作曜日(△):月、火、水、木、金
動作曜日(○):日、土

《ワンポイント》

・24時間を越える連続動作が2つ以上の設定を組み合わせることで可能になります。あわせて「設定上のご留意」(P12-3-16)をご覧ください。

4. 使用方法例

厨房で使用する場合

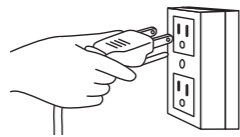
1 設置する前に厨房内を清掃し、エアコンを送風運転してください。

生ゴミなどは、本製品使用前に必ず室内から取り除いてください。これらが原因でオゾンの除菌・消臭効果が損なわれます。食品はできるだけオゾンに触れないよう、別の場所に保管してください。

2 オゾンをできるだけ厨房内で拡散するため、本機のオゾン吹き出し口を全体の中央に向け棚の上などの高い位置に置いて使用してください。



3 電源プラグをコンセントに差し込みます。



4 広さや環境に応じてオゾンの発生量を調整してください。

オゾン発生量切替スイッチの目安(夜間の無人下利用の場合)		オゾン発生時間:4時間(推奨設定)			
オゾン発生量	面積 容積	15~30m ² 40~80m ³	30~60m ² 80~160m ³	60~100m ² 160~270m ³	100~120m ² 270~320m ³
強	-L4- 1000mg/h				
	-L3- 750mg/h				
	-L2- 500mg/h				
弱	-L1- 250mg/h				

15m²(40m³)以下の空間でのご利用は販売元までお問い合わせください。

5 設置が完了したら、プログラム操作でタイマーをセットし、オゾン発生スイッチを入れてください。オゾン発生中ランプが点灯したら、室内から速やかに退出してください。なお、運転中は人やペットが室内へ入らないよう注意してください。(付属の注意ボードをご利用ください。)



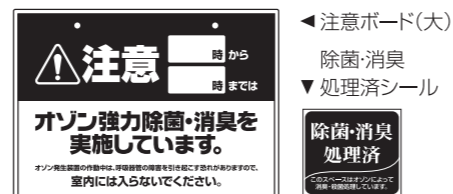
6 運転終了後は窓を開け、十分に換気を行ってください。



警告
■ 本製品は設定時間中、一定量のオゾンを連続して発生し続けます。オゾンはその性質上、分解、除去する対象物が存在するとそれらと反応して消滅しますが、対象物が少ない場合は蓄積してしまいます。そのため、室内や車内に臭いや雑菌などが少ない場合、運転終了時のオゾン濃度が高くなることにご注意ください。
■ 高濃度のオゾンを長時間吸引し続けることは、人体や動植物にとって害になる場合があります。本製品の運転中は人やペットが室内や車内に入らないようし、観葉植物などは外に出してください。(換気のための短期間の入室、乗車であれば問題ありません。)

注意ボード&シールについて

密閉された空間でオゾンを発生させる場合は、注意ボードにオゾン発生時間を記載し、扉や窓に必ず掲げて、人や動物が中に入らないようご注意ください。また、オゾンで除菌・消臭された空間を区別するために、シールも同封してありますのでご利用ください。



5. 使用上の保守・点検

剛腕の性能を維持するために定期的にメンテナンスを行ってください。

メンテナンス
動画ページ

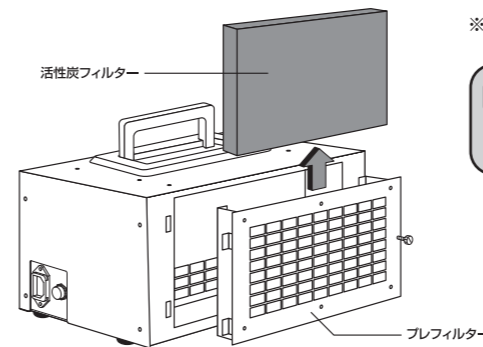


メンテナンス周期 ①ご使用1ヶ月毎 ②メンテナンスランプ点灯時

※メンテナンスランプは使用1000時間毎に点灯します。

フィルターの点検・お手入れ

フィルターがゴミやほこりなどで目詰まりすると、オゾンが効果的に発生できなくなるだけでなく、オゾン発生体の寿命にも悪影響を及ぼします。フィルターは定期的に点検し、著しくゴミやほこりが付着している場合は掃除機等で清掃してください。



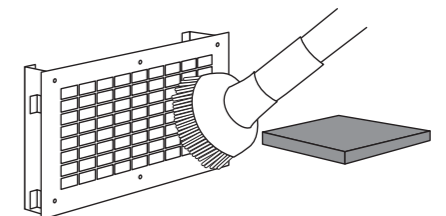
※別売品で交換用活性炭フィルターを販売致しております。

別売品のご案内
活性炭フィルター(1枚)
型番 GF-2213

オゾン分解フィルターの交換

本製品にはオゾンから内部の部品を保護するためのオゾン分解フィルターが装着されています。使用するにつれ劣化しますので一年に一回交換してください。

※水などの液体で洗わないでください。

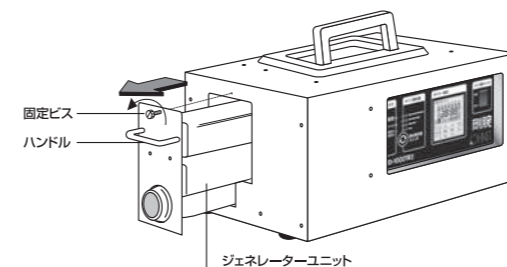


オゾン発生体のメンテナンス

ジェネレーターユニット内部のオゾン発生体(ロータスジェネレーター)は強い悪臭環境下で使用しても付着物が付きにくい構造になっていますが、より良い状態でご使用いただくため、1ヶ月に1度程度下記の要領でお手入れしてください。

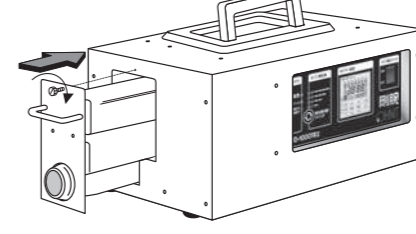
メンテナンスの方法 お手入れの際には必ずコンセントを抜いてください。

1 固定ビスを取り外し、ハンドルを手前にゆっくり引いて、ジェネレーターユニットを取り外してください。

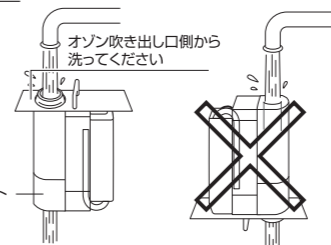


3 完全に乾燥したことを確認して、オゾン吹き出し口が、ハンドルの下になるようにセットします。

4 ジェネレーターユニットがしっかりとセットされたことを確認し、固定ビスを締めて固定してください。



2 オゾン吹き出し口側から水道の流水で中を洗浄します。
※洗浄前に必ず注入口をご確認ください。



本体のお手入れ

やわらかい布を、水または、中性洗剤を水でうすめた液にひたし、かたく絞ってから本体表面をふいてください。

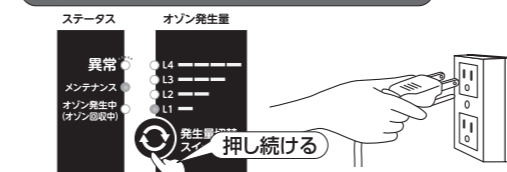
次のようなものは使用しないでください。(表面を傷めたり、変質や変色の原因になります。)

・シンナー、ベンジン、アルコール
・オープンクリーナー、クレンザー、漂白剤
・アルカリ性洗剤・スプレー式洗剤

電源コード、電源コード接続アダプター、などは、乾いた布でお手入れしてください。

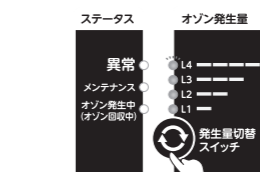
危険 ジェネレーターユニットは破損しやすいため、落としたり強い衝撃を与えないでください。

メンテナンスランプの解除方法



1 オゾン発生量切替スイッチを押しながら

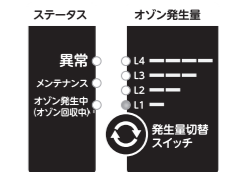
2 電源プラグをコンセントに差し込みます。



3 しばらくするとオゾン発生量表示ランプがすべて点滅します。



4 点滅を確認してオゾン発生量切替スイッチから手を放します。



5 点滅が消え、メンテナンスランプが消えたら解除完了です。